

SHIGAGIN
BUSINESS
WATCHING

かけはし

6

June 2008 Vol.87

かけはし対談

有限会社天平フーズ
代表取締役 池田 均氏

企業・強みの戦略

株式会社システマック
株式会社ホワイトマックス

かけはしインタビュー GSRの現場

滋賀県環境生活協同組合

顧客ニーズを丹念に探るアプローチにより 「食品の安心」を衛生用品でサポートする。

食品業界の成熟化と共に成長

売り上げの9割近くを占めるのは、パンや菓子、弁当などを製造する食品会社向けの「身につける衛生用品」だ。毛髪混入を防ぐヘアネットに始まり、ポリ手袋、エプロンや腕カバー、長靴に至るまで「頭からつま先まですっぽりカバーする」多種多様な衛生用品を取り扱い、それは数千アイテムにも達する。メーカー機能と問屋機能を併せ持つ特徴があり、取扱商品の約半分を自社で生産している(OEM供給品を含む)。

増本剛社長は「父(増本勝久現会長)が創業した1983年ごろは、コンビニで弁当や寿司を買う中食が成長の兆しをみせていた時期。父はその市場をメインターゲットに据えることで独自の展開を図った」と振り返る。製造してから食されるまでに時間差が生じる“新しい食のスタイル”の登場は、衛生用品という商品ジャンルそのものを育てたといえる。防腐剤などの添加物を減らそうとする業界の動きも追い風になった。「食品業界で衛生への意識が高まっていくなか、当社の活躍の場が広が

ってきた。先例がない点も多く、食品会社が抱える課題を丹念に掘り起こしながら最適な衛生用品を一緒に作る“当社流アプローチ”で実績をあげている」。

付加価値を高める最善の提案を

増本社長がいう当社流アプローチの最近の好事例が粘着ローラー。「毛髪混入トラブルを減らしたい」という製パン会社の要望に応えるため、粘着力の高い素材を懸命に探して独自に開発した。それまで使っていた家庭用



新素材「エンバランス」を利用した製品

カーペットローラーに比べて“事故”が激減したという。「衛生用品はお客さまから付加価値を感じてもらいたい商品。価格だけを追求して機能性の薄い汎用品ばかりを扱う業者も少なくないが、当社はお客さまの品質管理に責任を持ちたいと努め、コストが容認される範囲で“最も役立つもの”を提案していきたい」。その一方、使い捨てられることが多い衛生用品に関わる立場から「ゼロエミッション(廃棄物ゼ

ロを目指す活動)への貢献のため、付加価値が高いがゆえに使い捨てにされない製品をつくれぬか」と一念発起。ミネラルを特殊技術で樹脂や繊維に配合した新素材「エンバランス」を開発した。

新素材「エンバランス」を開発

樹脂に配合すると食品の鮮度保持効果を高め、繊維に配合すると人の体をやさしく温めることで冷え性や腰

痛、不眠を改善することができる。最初は抗酸化作用を持つとされるEM(有用微生物群)をポリエチレンなどに配合してみた。やがて機能性の源はミネラルだと気づき、試行錯誤を繰り返しながら食品の鮮度保持効果がある機能性素材を開発した。その新素材を「エンバランス」と名づけて水タンクや食品保存容器、ランチボックスなどへ次々と商品展開。大手百貨店のキッチン用品売り場で好評を得ているという。さらにそのミネラルを繊維へも配合してソックス、Tシャツなどの衣類や寝具なども製造・販売するようになった。「お使いいただいた方には好評で今後自信がもてる。エンバランスの認知度を高め、新しいブランドに育てて第2の柱にしたい」と熱く語る。



利用環境に合わせて素材を厳選するポリ手袋



食品の安心に貢献する安全衛生品

PROFILE

- 本社/大阪府枚方市中宮山戸町26-20
- 設立/1983年 ■ 代表取締役社長 増本剛
- 資本金/2,500万円 ■ 従業員数/39名
- 事業内容/各種安全衛生用品の開発・製造・卸販売、新素材「エンバランス」の技術開発及び応用商品の開発・製造・販売
- URL/<http://www.whitemax.com/>(衛生用品)
<http://www.embalance.jp>(エンバランス)



増本社長からひと言

「エンバランス」事業で初めて消費者向け商品に挑戦した。食品や人などへの効果が確認できている自信の新素材だ。今後は素材技術の深掘りと商品の魅力向上を図りたい。

VOICE

新しく「mip&mip」を展開

エンバランス加工の食品鮮度保存容器を販売しておりますが、このたび新シリーズとして「mip&mip」を展開します。新しいカラーが加わって皆さまの食卓を美しく彩ります。大事な食品を少しでも長持ちさせて、最後まで食べきりましょう。